

入院診療計画書「帯状疱疹(部位: _____)の点滴治療を受けられる _____ さんへ」

(説明年月日)

年 月 日






(病名)

(症状)

(ご本人・ご家族)

確認サイン

帯状疱疹でどんな病気？ 原因は”水ぼうそう”のウイルスと同じです。子供の時の”水ぼうそう”のウイルスは治った後も体の神経の中に潜んでいます。疲れなどが原因で、免疫力が低下するとウイルスは神経を伝って広がります。だから痛いのです。しかし、ほとんどヒトにはうつりませんし、よくある病気で誰でも一回はかかります。繰り返すことも普通ありません。1～3週間で皮膚の症状は治ります。ただし、神経で炎症が起こるため神経痛が残る事がありますので、これをなるべく抑えるために十分な治療と休養が必要です。

経過	入院時	2日目	3日目	4日目	5日目	6日目	7日目	8日目(退院日)
月日	/	/	/	/	/	/	/	/
到達目標								
治療処置	ウイルスを抑える点滴(1日3回)を約7日間行います。 ”痛み”に対しては痛み止めのクスリ(内服・坐薬・外用) 患部は温めると痛みが軽くなることが多いので、なるべく冷やさないようにして下さい。 							約5日間のウイルスに対する治療が終了したら、症状をみながら退院の日程を主治医と相談しましょう。
手術	<input type="checkbox"/> 無 ・ <input type="checkbox"/> 有 (術式: _____)							
食事栄養指導	特別な栄養管理の必要性 <input type="checkbox"/> 有 ・ <input type="checkbox"/> 無 特に制限はありません。 							
安静度症状	基本的に制限はありません。 小さな子供との接触には注意して下さい。 (“水ぼうそう”になった事がないヒトには、“水ぼうそう”としてうつることがあります。抵抗力のないヒトとの接触も控えて下さい。)							
清潔	お風呂で温めると痛みが軽くなることがあります。 ”ごしごし”こすってはいけません。							
患者・家族への説明	入院時オリエンテーション 治療・福祉などのご相談がある場合は、看護師か相談員にお尋ねください。	専門の薬剤師がクスリについて説明します。 	”痛み”がある程度軽減したら退院して、外来で治療します。痛みが残っていてもウイルスがどこかで”悪さ”をしているわけではありません。 神経の”キズ”が傷んでいるだけですから心配はありません。水疱が再び出てもありません。個人差はありますが、神経痛の軽減には時間がかかります。上手に”痛み”とつき合ってください。	退院前に、主治医が検査結果を説明します。			退院指導をします。何でも聞いて下さい。	

※症状により、予定と異なる場合があります。分からないことがあればお気軽に主治医や看護師にお尋ね下さい。

※なお、この計画書を病院側から受け取られた後は、患者さんの責任の下、保管していただきますようお願い申し上げます。

(病棟 号室) 主治医

印 担当看護師署名

担当者署名